

## 総評

国語・社会・英語が易しく、数学・理科が難しめでした。高得点の人も多く、差がつきやすい出題でした。

2年生になると、学習内容は一段難しくなり、差がつきやすくなります。内申点では、1・2年生の成績が全体の7分の4を占めるので、今のうちに入試を見すえた具体的な目標を立てて、目標に向かって頑張りましょう。

道コンなどの試験も、範囲が広くなるにつれ、入試に近い出題が増え、教科書内容をひとつお理解しただけでは高得点を得るのが難しくなってくるでしょう。

基礎、基本の定着はもちろんのこと、今後はより入試に近い実践的な問題に挑戦し、慣れていく必要があります。今回の試験でよい成績だった人も、油断することなく、一層の実力アップにチャレンジしてください。

## 国語

やや易しい出題でした。

㊦は、問一(2)「相違」の読み、問二(3)「拝む」の書きが難しかったようです。「相違」は「違」の読みの誤りが多く見られました。「拝」はつくりの横画の本数に注意しましょう。問三(4)は、空欄の直前だけではなく、文全体とのつながりにも注意が必要です。

㊧は、問三の書き抜きが難しかったようです。「燃え上がるような目つきをしていた」など、文中からの書き抜きではない表現も散見されました。

㊨は、問三、問四の記述が難しかったようです。問一の文法を間違えた人は、中一で習った文法を復習しておきましょう。㊩は、全体によくできています。得点できなかった人は口語訳と見比べながら、もう一度読んでみましょう。

## 数学

中難易度の問いが多く、差がつきやすい出題となりました。

①はどれも解けるようにしたい基本問題です。方程式の解き方や、式の値の求め方、不等式の作り方をもう一度確認しましょう。式の値では、計算が終わっていない式を書いた人が目立ちました。分数と整数のひき算の手順も確認しておいてください。

③問1の方程式はよく得点できています。「何を $x$ とするか」「求めたいものは何か」を常に意識しましょう。

④のようなグラフを利用した関数の問題は、入試に向けてたいへん重要です。グラフの式を求めること、式をもとに座標を求めることを中心に、よく練習しましょう。

⑤の立体は、どのような立体かしっかりイメージして取り組みましょう。体積の公式は確実に覚えましょう。

## 社会

易しい出題でした。

地理分野では、③問6、⑤問6といった資料を使った問題の得点率が特に低くなりました。グラフや表などの資料を使った問題は地理分野ではよく出題されるので、間違えてしまった人はどこで間違えたのかをよく確認しておきましょう。⑤問3は地方中枢都市に関する問題でしたが、語句を解答できていない答案が目立ちました。この機会に教科書などで見直しをしましょう。

歴史分野は、全体的によくできていましたが、年代並べかえ問題の得点率が低くなりました。歴史では、重要な語句を書くことができることも大切ですが、歴史のおおまかな流れをつかむことも大切ですので、並べかえ問題を苦手としている人は、教科書の年表などを利用して確認しておきましょう。

## 理科

やや難しい出題でした。

①の蒸散は、問3の得点率が下がりました。実験の結果を読み取って思考する必要があるため、難しく感じた人も少なくないかもしれません。また、④の水溶液は、問2(2)をのぞき、得点率が低くなりました。どれも実験の結果をもとに思考したり、計算したりする問題です。理科は、暗記だけでは高い得点をとることはできず、このような思考力、応用力が必要となる問題への対応することが必要となります。実践的な問題を繰り返し演習することで、得点をのばすことができます。⑤問1(2)の作図では、振動数は正しいものの、振幅に誤り(点線と同じ幅)がある答案が少なくありませんでした。問題文をしっかりと読み、正確に答えるように意識するようにしましょう。

## 英語

易しい出題でした。1年生での学習内容がしっかり身についている人が多いようです。間違えた問題がある人は、2年生の学習が進む前に復習しておきましょう。また、今後は長文問題を解く機会を増やし、教科書で習ったことを長文問題の中で活用して答えられるようにしていきます。

③問1は、①・②とも得点率が低くなりました。いずれも1年生の後半に学習した過去形からの出題でしたが、長文読解の中でどのように出題されるのか、という観点で練習してみてください。

③問3(1)も得点できなかった人が多かったようです。移動手段をたずねる how と by を使った答え方が身についていたか、確認しておきましょう。また、代名詞 they の使い方もしっかり覚えておきましょう。